

転写禁止

E L I C ビジネス & 公務員 専門学校

自己評価報告書

令和 4 年度

(令和 3 年度評価)

記載責任者 森 登志男

記載者 木村 公一

# 目 次

I	学校評価の意義	1
II	学校評価の流れ	1
III	学校評価者	1
IV	学校の教育目標	3
V	本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	3
VI	評価項目の達成及び取組状況	6
	( 1 ) 教育理念・目的・人材育成像	6
	( 2 ) 学校運営	7
	( 3 ) 教育活動	8
	( 4 ) 学修成果	10
	( 5 ) 学生支援	11
	( 6 ) 教育環境	13
	( 7 ) 学生の受入れ募集	13
	( 8 ) 財務	14
	( 9 ) 法令等の遵守	14
	(10) 社会貢献・地域貢献	15
	(11) 国際交流	15

# I 学校評価の意義

ELIC ビジネス&公務員専門学校では、文部科学省の「学校評価ガイドライン」に沿って、実行及び検証を行うことで自己評価報告書を作成し、この学校評価を適正な学校運営と教育改革に取り組む一助とする。

# II 学校評価の流れ

①学園の中長期計画を達成するため、事業計画を作成する。②各教職員が事業計画に基づいて業務を遂行する。③各教職員が現状の問題点を洗い出し総合的に評価する。④自己評価担当が評価内容を分析し自己評価報告書（案）を作成する。⑤自己評価委員会を開催し、提起された課題点に対しての改善方針を定め、自己評価報告書を完成させる。⑥自己評価報告書の内容を学校関係者評価委員会にて検証する。⑦学校評価報告書を作成し、学園本部に提出する。⑧学校評価報告書の必要項目をホームページにて情報公開する。

# III 学校評価者

## ①自己評価

ELIC ビジネス&公務員専門学校のすべての教職員が「自己評価者」となり、自己評価を実施する。自己評価担当者が内容をまとめ、自己評価報告書を作成する。

### 【自己評価者】

校長	森 登志男	教諭	水本 貴久
事務長	小林 真子	教諭	長谷川 靖洋
学年主任	木村 公一	教諭	西 託民
学年主任	加藤 佳明	教諭	瀬木 翼
渉外主任	徳永 好宣	教諭	水谷 奈月
教諭	田口 和吉	事務職員	小島 祐子

以上 12 名

### 【令和 3 年度自己評価担当者】

自己評価担当者は、次の本校教職員で構成される。

学年主任	木村 公一	
教諭	水谷 奈月	
事務職員	小島 祐子	以上 3 名

## ②自己評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校自己評価委員会は、次の本校教職員で構成される。

校 長	森 登志男	
事 務 長	小林 真子	
学年主任	木村 公一	
学年主任	加藤 佳明	
渉外主任	徳永 好宣	以上 5 名

## ③学校関係者評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校に関係している多様なステークホルダーであり、多角的方面より評価をいただく。構成する関係者は次のとおりである。

在学生保護者	2 名
本校卒業生	2 名
学生就職先	1 名
地域関係者	1 名

以上 6 名

## IV 学校の教育目標

第二次中長期計画の最終目標に掲げる「設置校全てが、持続的に自立可能な組織として確立している学校法人となること」の中、特に「持続的に自立」という課題に教職員一丸となり全力で取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症対策と教学の両立、そして新しい教育体制の確立、教育の質の保証に積極的に取り組みます。

## V 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 1. 第二次中長期計画の着実な実行

- (1) 第二次計画の期間に到達できた KPI、特に入学者数、公務員決定率が持続できるように体制を強化し、自立可能な組織の確立を目指します。
- (2) 第二次計画に掲げた目標が、飛躍、継続できることを前提に、新たな第三次計画の目標、戦略を具体化します。
- (3) 「適正な規模」のハードルを乗り越える方策を確実に実施します。

### 2. 学園経営力の強化

- (1) 本校の第二次計画実施委員会において、最終年となった同計画を推進します。
- (2) 運営委員会は、一層のガバナンス強化・改善に努めます。

### 3. ブランド力の強化

- (1) 建学の精神、校則に沿った人材の育成を目指し、学生、保護者が満足する学校づくりを行い、学校関係者評価委員会において成果を検証し公表します。
- (2) ICT化を推進し教育の効率化と強化、そして魅力ある学校作りを進めます。
- (3) 活気ある組織づくり、風通しの良い組織づくりをします。
- (4) 公務員、各種資格の合格、就職先の充実を図り、結果を積極的に発信します。

### 4. 在学学生の安定的確保

- (1) 175名の入学生確保が目標です。新型コロナウイルス感染症による入国制限で、令和2年度は、ほとんどの日本語学校が入学生を確保できず、その影響が、令和4年度、本校の留学生確保に大きな影響を受けます。その減少分は、日本人学生で補う必要があります。日本人学生150名入学が目標です。
- (2) 学生及び保護者のニーズを吸い上げ、データとして活用する仕組みをより強化し、高校生から選ばれる学校へと改革を進めます。
- (3) コロナ禍対策として、オンラインを活用した広報活動を推進します。

## 5. 財政基盤と管理運営の強化

- (1) 高等教育修学支援新制度に対応する効率的な奨学金制度につき、渉外主任を中心に作業部会を設置し、5月末日までに結論を得ることとします。
- (2) 主任は、各担当分野のみならず組織の中心として、管理運営にあたります。
- (3) 継続的に不必要な居残りの根絶と速やかな帰宅を徹底するとともに、各教職員の効率的な職務遂行、自覚を図ります。
- (4) 事務職員は、「職務記述書」（改訂版）を9月末日までに作成します。

## 6. 教学改革の努力

- (1) 学校教育法施行規則に基づくガイドラインに依拠した学校評価の内容の充実と結果の公表に努めます。令和2年度学校評価を6月末日までにまとめます。
- (2) ICT教育の導入を進めます。オンライン教育の導入を視野に、試験的にICT教育を授業へ導入します。令和4年度からの本格的な導入を目指し、プロジェクトチームで6月末日までに、目標、方法など大枠を決定します。その後各科において具体的なシミュレーションを11月までに行います。
- (3) 公務員科は、改革を継続するとともに、特に面接試験対策の充実を図ります。
- (4) ITスキル科は、プログラム教育を中心に行い、社会から歓迎される人材の育成、国家試験の合格率アップに努めます。
- (5) 留学生は、日本語能力検定（N2等）合格者を、昨年度の成果に上乗せできるようにするとともに、プログラミングを中心としたITスキル教育の充実を図ります。更に長年の課題である就職決定者の飛躍的な増加を目指します。

## 7. 学生に対する学習・生活支援と広範な利害関係者との連携強化

- (1) 令和2年度に策定した学生・生徒及び保護者のニーズに対応した細かい施策について、着実に実行します。
- (2) キャリア教育を推進し、100%進路決定を目指します。更に指導部を中心に質的な充実を図ります。
- (3) コロナ禍においても実現できる、地元、地域への貢献を企画実行します。

## 8. 施設等教育環境の整備・充実化

- (1) 校舎全体の床の張替え、外壁の塗装を行います。
- (2) 建築基準法に基づく校舎の点検を随時実施するとともに、非構造部材の耐震化点検において見つかった不具合箇所の改善を行います。
- (3) 地震、集中豪雨、感染症等に対する危機管理体制を委員会中心に見直しします。また、コロナ禍の対策を引き続き行います。

## VI 評価項目の達成及び取組状況

自己評価者の評価平均が 2.5 未満の項目を問題項目とし、現状分析・改善案を作成し、特に評価の低い 3 項目は重要改善項目と位置づける。

### (1) 教育理念・目標

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3.5
b. 学校における職業教育の特色は何か	3.2
c. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.1
d. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係 業界者・保護者等に周知がなされているか	3.3
e. 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向け て方向づけられているか	3.1

### ■課題

特になし

## (2) 学校運営

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.5
b. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.5
c. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3.2
d. 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.6
e. 教務・財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか	3.4
f. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.1
g. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.2
h. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.2

### ■課題

#### **h) 重点① 昨年度 2.1**

- ・紙ベースで連絡が伝達されている
- ・マスターが複数存在するなどデータに整合性がない。
- ・既卒者の卒業証明書など手作業で行っており、電算化したい。

### ■今後の改善方針

#### **h) 重点①**

- ・スケジュール・チームスを使用し、デジタル化する。
- ・大学で使用している DB システムを活用し効率化を図る。

### (3) 教育活動

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.2
b. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年数に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.2
c. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.3
d. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.1
e. 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.5
f. 関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ・実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2.3
g. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.7
h. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.5
i. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.6
j. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.6
k. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.2
l. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2.9
m. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2.2

## ■課題

e)

- ・資格取得を中心に指導しているため、業界団体との関連が薄い。

### **f) 重点② 昨年度 2.3**

- ・本年度はコロナ禍でインターンシップは実施されていない。
- ・学生の意識づけが不十分。
- ・インターンシップの参加者が少ない。

h)

- ・外部からの意見を取り入れる努力はしているが、不足している。

### **m) 重点③ 昨年度 2.2**

- ・日々の業務、学生サービス向上に追われており、最先端の知識を習得する取組が後回しになっている。
- ・参観授業、授業アンケートなど指導力の向上に役立つ取組をしているが、不足している。

## ■今後の改善方針

e)

- ・他の専門学校との意見交換、企業や外部講師のよる特別講義を行い、実社会とのマッチングを図る。

### **f) 重点②**

- ・事前の動機付けに重点を置き、ITスキル科 7 割の学生のインターンシップ参加を目指す。（期間は5日以上）
- ・学生を成長させるインターンシップを実施してもらえる企業との繋がりを作る。（目標：10社）

h)

- ・保護者向けの参観授業、企業との意見交換会など、評価して頂ける行事を検討する。

### **m) 重点③**

- ・研修の周知、研修に参加しやすい組織作りを推進する。
- ・新たな研修を検討する。（専任教員の授業・業務態度に関する意見交換会）

#### (4) 学修成果

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 就職率の向上が図られているか	3.0
b. 資格取得率の向上が図られているか	3.3
c. 退学率の低減が図られているか	2.8
d. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0
e. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.9

#### ■課題

特になし

## (5) 学生支援

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評 価 項 目	評 価
a. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.3
b. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.4
c. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.7
d. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.8
e. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.8
f. 学生の生活環境への支援は行われているか	3.1
g. 保護者と適切に連携しているか	3.5
h. 卒業生への支援体制はあるか	3.0
i. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・就業教育の取組が行われているか	2.7

### ■課題

特になし

## (6) 教育環境

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.3
b. 防災に対する体制は整備されているか	3.2

### ■課題

特になし

## (7) 学生の受入れ募集

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.4
b. 学生募集活動は、適正に行われているか	3.3
c. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.5
d. 学生納付金は妥当なものとなっているか	3.4

### ■課題

特になし

## (8) 財務

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.2
b. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.3
c. 財務について会計監査が適正に行われているか	3.5
d. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.5

### ■課題

特になし

## (9) 法令等の遵守

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.5
b. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2
c. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.2
d. 自己評価結果を公開しているか	3.6

### ■課題

特になし

## (10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	評 価
a. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	<b>3.3</b>

### ■課題

特になし

## (11) 国際交流

評 価 項 目	評 価
a. 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	<b>3.0</b>
b. 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	<b>3.5</b>
c. 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	<b>3.2</b>

### ■課題

特になし